

伝国の杜・ナセBA 連携企画
青少年・こどもの「まなび」応援
図書館利用者カード割引

小～大学生の方は、市立米沢図書館の利用者カードを米沢市上杉博物館で提示すると、常設展・企画展とも入館料が割引になります（団体割引適用）。

展示会情報は、米沢市上杉博物館のホームページをご覧ください。
<https://www.denkoku-nomori.yonezawa.yamagata.jp>



◆開館時間

[平日]
4月～9月 10:00～20:00
10月～3月 10:00～19:00
[土・日・祝日] 9:00～19:00

〒992-0045
山形県米沢市中央1丁目10番6号
(ナセBA 2階)
TEL: 0238-26-3010
FAX: 0238-26-3012
Mail: tosyokan@library.yonezawa.yamagata.jp
URL: <https://www.library.yonezawa.yamagata.jp/>
X (旧 Twitter): @yonezawalibrary



カレンダーマーク
のご案内

- おはなしかい
米沢図書館 11:00～
- 出張おはなしかい
すこやかセンターもくいくひろば
10:30～
アクティール米沢 くても
11:15～
- ブックスタート
※7か月児健康教室時実施
- 先人顕彰コーナー 展示替

今後のスケジュール予定



自動車文庫車「アタゴオル」は、約3,500冊の
図書を横断して市内約70ヶ所を巡回しています。
図書館と同じように本の貸出ができますので、
ぜひご利用ください。
※巡回場所と時間は図書館HPをご覧ください。

2024年1月

月	火	水	木	金	土	日
1	2 年末年始休館日 2023/12/29(金)～2024/1/3(水)	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12 おはなしかい	13 英語多読 ワークショップ	14
15	16	17 出張おはなしかい	18	19 おはなしかい	20 英語多読 ワークショップ	21
22	23	24	25[休館日]	26 夢空間 おはなしかい 11:00～	27 英語多読 ワークショップ	28
29	30	31				

2024年2月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2 蔵書点検のため休館	3 2/1(木)～2/7(水)	4
5	6	7	8	9 おはなしかい	10 英語多読 ワークショップ	11 古文書 解説講座①
12	13	14	15	16	17 出張おはなしかい	18 古文書 解説講座②
19	20	21 出張おはなしかい	22[休館日]	23 夢空間 おはなしかい 11:00～	24 英語多読 ワークショップ	25 古文書 解説講座③
26	27	28	29			

2024年3月

月	火	水	木	金	土	日
				1 おはなしかい	2	3
4	5	6	7	8	9 出張おはなしかい	10
11	12	13	14	15 おはなしかい	16 英語多読 ワークショップ	17
18	19	20	21	22 夢空間 おはなしかい 11:00～	23 英語多読 ワークショップ	24
25	26	27 出張おはなしかい	28[休館日]	29	30	31

◆ 2/1(木)～2/7(水) 蔵書点検に伴う休館日 ◆

【蔵書点検とは?】

「蔵書」とは、図書館にある資料（本、新聞、雑誌、DVD・CDなど）のこと。「蔵書点検」とは、本の棚おろし、つまり、資料が決められた棚にあるかを調べ、行方不明のものがいないかを点検する作業のことです。

図書館だより

vol. 30

冬

2024.1 市立米沢図書館



1月～3月イベント案内



開催中!!

ナセBAうちとくビンゴスタンプラリー ～3/31まで

市内小学生を対象に、市立米沢図書館と移動図書館「アタゴオル」でスタンプラリーを開催中です。ビンゴ形式のお題にチャレンジして、ビンゴになったら景品をプレゼント＆図書カードの抽選に応募できます。

☆今年はおはなしかいでもスタンプが貰えます。(おはなしかいの日時は最後のページ「今後のスケジュール予定」をご覧ください。)



先人顕彰コーナー 展示

場所: ナセBA 中2階
先人顕彰コーナー(多目的展示室)

図書館の絵図展 8 各地の城絵図

期間: 1月4日(木)～1月24日(水)

今回の絵図展では、高畠城・鶴岡城・梁川城(福島県伊達市)・仙台城など、米沢以外の各地の城絵図・城下絵図を紹介いたします。



仙台城絵図

写真で見る米沢のむかし Part6 ～米沢のこどもたち～

期間: 1月26日(金)～3月27日(水)

Part6を迎える本年度のテーマは、「米沢のこどもたち」と題して、戦後の米沢のこどもたちの写真を当館所蔵の資料から展示します。



スキー教室にて



第67回 古文書解説講座

- 2月11日(日)
「御馬廻三十人頭のお仕事 -組願之写を読む-」
青木 昭博 (当館副館長)
- 2月18日(日)
「上杉勝応宛書状を中心に読む」
宮澤 崇士 (当館郷土資料担当)
- 2月25日(日)
「戦国武将、手紙を書く -国宝『上杉家文書』から-」
阿部 哲人氏 (米沢市上杉博物館学芸員)

会場: ナセBA1階 体験学習室
時間: 13時30分～16時(受付開始13時)
定員: 30名(先着順)
資料代: 各回500円(各回申込制)
申込み: メール・電話・カウンター(郷土資料担当)まで
資料配布: 1月24日(水)以降予定

英語多読ワークショップ 「多読から会話へ」

「多読」とは、難易度の低い本から始めて、少しずつ文字の多い本へ進んでいき、楽しく外国語を身につける方法です。図書館の英語絵本や多読向けの本を英会話に活かすためのワークショップを開催します。

講師: 酒井 邦秀氏 (NPO多言語多読理事)
日時: 1月27日(土) 14時～15時30分
会場: ナセBA1階 体験学習室
定員: 30名
参加費: 無料
申込み: メール・電話・カウンター(図書業務担当)まで
共催: ナセBA たどくらぶ

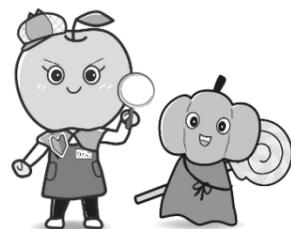
* イベント報告 *

2023 読書週間図書館フェア 10/27(金)~11/5(日)

期間中は、子どもから大人まで楽しめる様々なイベントを開催しました。今回はその中の一部のイベントについてご報告します。

◆図書館にちょっと詳しくなる謎解きラリー2023 期間中~11/23(木・祝)◆

謎を解いて館内に散らばったキーワードを集めると、「ちょっと」図書館に詳しくなる謎解きラリーを開催しました。昨年の初開催時に「またやってほしい」という嬉しい声をいただき、新たな謎を引っ掛けて今年も再びやって来しました。検索機を使って本を探したり、普段足を運ばない場所での新たな発見を楽しんでいただけました。



◆海外協力隊活動報告会×読書会 10/29(日)開催◆

第1部では、JICA 海外協力隊員としてエクアドルで活動された小林みずほ氏を講師にお招きし、派遣に至るまでの経緯や現地での活動、帰国後の取り組みなどについてお話しいただきました。参加者の皆さんからは、「海外での活動を視野に入れているため、具体的な経験をお聞きして明確にイメージが持てた」、「可能性やロマンを感じた」といった声をいただきました。さらに、第2部では「読書を通して世界とつながる」をテーマ

持ち寄った本の一部をご紹介します！



『ソロモン諸島でピブリオバトル』
益井博史著 子どもの未来社 2020年

青年海外協力隊としてソロモン諸島に渡り、「ピブリオバトル」で子どもたちに読書の楽しさを伝えた著者の奮闘記。

※「ピブリオバトル」…本の紹介をし合って「一番読みたくなった」チャンプ本を決めるゲーム。

『くもをさがす』
西加奈子著 河出書房新社 2023年

コロナ禍の中、滞在先のカナダで浸潤性乳管がんを宣告された著者が、乳がん発覚から寛解までの約8ヶ月間を描いたノンフィクション。



に、講師・参加者・職員が持ち寄った本を紹介し合う交流会を開催しました。

📖 郷土おすすめ本 📖



タイトル：警女さと温泉
著者：国見 修二
出版社：玲風書房 分類：郷土 291.4

1年のうち、300日近くを旅して歩いた越後警女(ごぜ)。新潟、山形を中心に、彼女たちが日々の疲れを癒し、心身を整えた温泉を記録と共に紹介。三味線と唄で力強く生き抜いた女性たちと温泉の関わりが見えてきます。山形県の温泉の章には、小野川温泉や白布温泉も紹介されています。



タイトル：日本の森のようちえん
編著：内田 幸一
出版社：ミツィパブリッシング 分類：郷土 376.1

北欧発祥の保育スタイル「森のようちえん」。自然の中で幼児教育を実践する全国の園長たちが、なぜ森のようちえんを作ったのか、子どもたちがどんなふう成長してほしいか、それぞれの思いを語ります。米沢の保育施設も登場。「ほんものの自己肯定感を育てる」など前向きな気持ちになるヒントが詰まった内容です。



タイトル：ちみちみちぎり絵 BOOK
著者：ウメチギリ
出版社：日貿出版社 分類：郷土 726.9

著者は米沢市在住のちぎり絵作家。ちぎり絵に興味があるけれど難しそう、と感じている人のために、ちぎり絵の図柄やそれを貼り付けるイラストベースが掲載されています。うまくいかなくても自分らしい「今のカタチ」を楽しんで、と語りかけてくれる1冊です。

第34回文学講座

今年の文学講座は、連歌と和漢聯句に焦点を当てた講座を開催しました。

11月19日(日)は、高野譲氏(みちのく連歌会 会長)より「連歌を楽しむ」と題して、連歌式目(連歌作成のルール)の解説の後に、みちのく連歌会にて実際に詠まれた連歌を例に、連歌の作り方や楽しみ方を紹介して頂きました。複数人が集まりリレー形式で詠まれる連歌に、深く興味を持つ講座でした。

11月25日(土)と26日(日)は、川崎美穂氏(愛知教育大学助教授)をお迎えし講演して頂きました。25日は「上杉家中の和漢聯句と連歌」と題して、和漢聯句と連歌の基本的な読み方を踏まえた上で、上杉家中の文芸実績や作品から読み取れる上杉景勝と直江兼続の歌の特徴を分かりやすく説明して頂きました。



第1回講師 高野譲氏



第2回、3回講師 川崎美穂氏

26日は「新発見の直江兼続の両吟連歌と和漢聯句」と題して、川崎氏によって見出された「慶長六年十二月十九日夢想和漢聯句」の原本(慶応義塾図書館所蔵)の紹介があり、漢詩を詠んだ兼続の文学的な力量を高く評価されました。また、当館所蔵の「直江兼続・称念寺其阿阿吟連歌」について、漢詩が主であった兼続にとっては大変珍しい連歌であることを紹介され、最後に実物史料を参加者一同で見学しました。

出張おはなしかいはじめました！

あつくても、寒くても遊べる室内遊戯施設「くても」が、米沢市子育て世代活動支援センター「アクティー米沢」内に令和5年10月よりオープンしました。それにあわせて、図書館職員による「出張おはなしかい」がスタートしています。

日時/場所

原則毎月第3水曜日

・もくいくひろば(すこやかセンター内)

10:30~10:45

・くても(アクティー米沢内)

11:15~11:30

*「くても」のご利用は事前予約が必要です。

*基本的におはなしかいのプログラムは同じです。

※出張おはなしかい、定期おはなしかいの日程は変更になることもあります。最新の情報は図書館 X [旧 Twitter] などをご確認ください。

図書館のおはなしかい

絵本や紙芝居などの読み聞かせを開催しています。申込不要ですでお気軽にご参加ください。

日時：毎月第2・3土曜日と第4金曜日

11:00~11:20

場所：おはなしのへや(ナセBA2階こどもフロア)

対象：乳幼児~小学校低学年

読み手：第2土曜日：図書館スタッフ

第3土曜日：図書館サポーター、図書館スタッフ

第4金曜日：読み聞かせボランティア団体

「サークル夢空間」さん



← おはなしかいのようす (もくいくひろば)



展示の様子

米沢市小中学生読書感想画展 2023/12/6(水)~12/10(日)

児童、生徒の読書意欲を高め、柔らかな感性と豊かな想像力を培うことを目的とし、応募作品全366点を一堂に会した米沢市小中学生読書感想画展。今年もよねざわ市民ギャラリーにて12/6(水)から10(日)まで開催され、1,695名の方にご来場いただきました。